

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	職員も環境の一部であることは理解している。しかし、関わりが密になればなるほど馴れ合いになり、それが言葉や行動に出てしまい、入居者を尊重したケアに結びついていない時がある。	一人ひとりの想いや状態に合わせた関わり支援を行い、居心地の良い生活環境づくりに務めていく。	①各担当者が入居者一人ひとりの想いや意向を確認する。 ②①を実行する(特別な日や楽しみの企画) ③お互いの声かけ、声のトーンについて、会議などで振り返りを行い、意識づけをしていく。 ④認知証介護の理解、研修会への参加、伝達研修の実施。 ⑤『関わりプチ自慢』を行い継続したケアに結びつける。	12ヶ月
2	28	ボランティアの受け入れを行っているが、入居者との関わりを考えると十分とは言えない。地域の方との関わりが増えることで、認知症介護やグループホームを知って頂く機会が増え、さらにその関係性が良好に保て、それがご利用者の生活意欲につながっていけば良い。ご家族との関わりも同様と考えられる。	地域交流の必要性を学習し、地域の方やご家族が入居者を共に支え合う、仲間であることを理解しながら交流を図っていく。	①地域交流に関する情報の収集と関連する研修会への参加。 ②ボランティア受け入れの継続(畑ボランティアを募り、共に畑づくりを行う) ③運営推進会議を通し地域行事へ参加、及びグループホーム内行事への参加案内発信。 ④各行事と抱合せで家族交流会の場を設け、情報交換やご家族向けの学習会を企画する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。